



## 宿題たしかめ表

9月16日～9月22日

お家の人のサイン	今週の宿題	
	1	音読 下 P11～P33
	2	漢字学習ノート P53～P60
	3	漢字書きテストの練習⑬
	4	漢字読みテストの練習⑫
	5	たしかめプリント2枚・ごんぎつねプリント3枚
	6	「ごんぎつね」言葉さがし続き①～⑤
	7	新出漢字十四 (位置欠満栄養卒単)
	8	クロスワードことわざ慣用句⑳
	9	短作文「今週の慣用句⑯」
	10	9月の一言日記を続ける。
	11	ウェブサイトを見て「大きな古時計」を歌う。
	12	毎日の出来事を家の人と日本語で話し合う。



## 音読カード きのうちより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ	( ごんぎつね )						
よ む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
お家の人のサイン							

漢字書きテスト練習

⑬

梓組

① 地球の**みらい**を考える。

② **きぼう**におねがふくらむ。

③ 本のお**び**を読む。

④ 読みたい本を**えらぶ**。

⑤ **みんぞく**の生活を調べる。

⑥ 子どもが**せいちょう**する。

⑦ 放送局で**はたらく**。

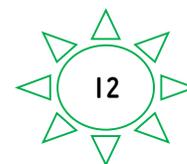
⑧ **けんこう**に気をつける。

⑨ バラの花びらが**ちる**。

⑩ **めいれい**を下す。

命	令	散	る	健	康	働	く	成	長	民	族	選	ぶ	帯	希	望	未	来

# 漢字読みテスト練習



梓組

\* 漢字の読みの練習をしましょう。正しく読めたかどうかたしかめながら、何度も読んでみましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
年賀はがき。	海軍の大佐。	沖縄県のサンゴ。	鹿児島県のさくら島。	宮崎県のチキン南ばん。	大分県の温せん。	熊本県のトマト。	長崎県のちゃんぽん。	愛媛県のたいめし。	佐賀県のありたやき。
⑳	⑑	⑒	⑓	⑔	⑕	⑖	⑗	⑘	⑙
都道府県をめぐる旅。	この地方の名物。	日本の工芸品。	全国に広まる。	活火山を見る。	生産りょうが多い。	鹿のいる神社。	縄とびで遊ぶ。	船が沖に出る。	熊が住む森。

宿題 たしかめプリント

梓組

1 □に当てはまる漢字を書きましょう。

(1) 地球の  
□  
みらい

(2) □  
きぼう  
をもつ。

(3) 遊牧<sup>ぼく</sup>  
□  
みんぞく  
の生活。

(4) 店一番の  
□<sup>はたら</sup>  
き手。

(5) □<sup>けんこう</sup>  
に気をつける。

2 □に当てはまる、形が似た漢字を書きましょう。

(1) □<sup>し</sup> □<sup>みん</sup>  
市  
の集まり。  
□<sup>し</sup> □<sup>みん</sup>  
名を書く。

(2) □<sup>けん</sup> □<sup>けん</sup>  
父は  
□<sup>けん</sup>  
築家だ。  
□<sup>けん</sup> □<sup>けん</sup>  
全な考え。

(3) □<sup>み</sup> □<sup>らい</sup>  
知の世界。 □<sup>み</sup> □<sup>らい</sup>  
週の予定。

(4) □<sup>どう</sup> □<sup>どう</sup>  
運 □<sup>どう</sup> □<sup>どう</sup>  
七時間労働<sup>ろっく</sup>  
□<sup>どう</sup> □<sup>どう</sup>  
場で遊ぶ。 □<sup>どう</sup>  
する。

3 ( )に合う言葉をア～ウから選んで、記号で答えましょう。

○ノンフィクションは、( )にもとづいて書かれている。

- ア 想像<sup>ぞう</sup>
- イ 事実
- ウ 意見

# 宿題 たしかめプリント

梓組

1 □に当てはまる漢字を書きましょ。

(1) げきの  
□ はじ  
まり。

(2) □ さら  
を □ お  
とす。

(3) □ わる  
い者をこらしめる。

(4) □ いそ  
いで立ち  
□ さ  
る。

(5) □ か  
いがん  
に □ つ  
く。

(6) □ か  
な  
しい結末。

(7) □ ふ  
か  
い森に入る。

(8) □ く  
ら  
い道を  
□ す  
む。

(9) 犬を  
□ たす  
け出す。

(10) □ さ  
け  
を □ の  
む。

(11) 学校に  
□ む  
かう。

(12) 石が  
□ ころ  
がる。

(13) 品物を  
□ う  
け □ と  
る。

(14) まどを  
□ あ  
ける。

(15) □ こう  
ふく  
なくらし。

(16) 物語が  
□ お  
わる。

(17) お  
□ れ  
い  
の □ う  
つく  
しい花。

(18) □ た  
ま  
て  
ば  
こ  
をもらう。

ごんぎつね

①

なまえ

◆ 読みがなを書きましょう。

① 色の変へ化く。

② 菜種ながら

③ 一けん家か

④ 雨がふり続つく。

⑤ 小川せの水みづ。

⑥ 花をふみ折おる。

⑦ かごを積たむ。

⑧ 昼飯ひるめしを食たべる。

⑨ 松まつ たけが生うえる。

⑩ 不ふ思し議ぎ

⑪ 明かりが差さす。

⑫ 念ねん仏ぶつをととなえる。

⑬ 連れ立たって歩あく。

⑭ 情じょう景けいをええがく。

⑮ 話わの結け末まつ。

⑯ うつり変かわる

⑰ 種しゆ類るいが多おほい。

⑱ ご飯めしを食たべる。

⑲ 交ま差さ点てん

⑳ 連れん続ぞくする

③ いろいろな読み方

家主 家路 家来 家族

⑨④ 漢字の形

木+公 → 松  
糸+売 → 続

組み合わせておぼえよう。



⑯ 送りがな

変かわる



「わ」が入るよ。

# ぐんぎつね

②

なまえ

1 ————の言葉の意味にあうものを、●—●でつなぎましょう。

- ① 妹のしわざ。 ●
  - ② 道のぬかるみ。 ●
  - ③ いせいのいい声。 ●
  - ④ いたずらの  
つぐない。 } …… ●
- いきおい。 元気。
  - したこと。 行い。
  - かわいそうな様子。
  - だろどろになった地面。
  - 相手にそんなをさせたことの、うめ  
合わせをすること。

2 ( )にあう言葉を、    から選んで書きましょう。

- ① 後ろで大きな音がして、 ( ) した。
- ② 雨があがると、急に空が ( ) 晴れた。
- ③ 近づいていくと、二人の話が ( ) 聞こえてきた。

からつと・だんだん・ぬるぬると・びくつと

3 ( )にあう言葉を、    から選んで書きましょう。

- ① 日曜日な ( )、小学校は休みだ。
- ② 友達がわらい ( )、手をふっている。
- ③ きのは、本を読んだり、絵をかき ( ) した。



と・たり・ので・のに・ながら

◆ 文章を読んで答えましょう。

その明るる日も、ごんは、くりを持って、兵十ひょうじゅうのうちへ出かけました。兵十は、物置で縄になっていました。それで、ごんは、うちのうら口から、こつそり中へ入りました。

そのとき兵十は、ふと顔を上げました。と、きつねきつねがうちの中へ入ったではありませんか。こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねごんぎつねが、またいたずらをして来たな。「ようし。」



兵十は立ち上がって、なやにかけてある火縄じゆうを取って、火薬をつめました。そして、足音をしのばせて近よって、今、戸口を出ようとすると、ごんを、ドンとうちました。

(教科書下27・28ページより「ごんぎつね」新美南吉作)

1 ごんは、何をするために兵十ひょうじゅうのうちに出かけましたか。一つに、○をつけましょう。

- ( ) いたずらをするため。
- ( ) くりをとどけるため。
- ( ) うなぎをぬすむため。

2 ごんがこつそり中へ入ったとき、兵十は、どつで何をしていましたか。

- ( ) で
- ( ) いた。

3 兵十ひょうじゅうが見た「きつね」は、前に何をぬすんだのですか。

4 兵十ひょうじゅうは、ごんが何をしに来たと思いましたか。

- ( ) をしに来た。

5 兵十ひょうじゅうは、何をしようとして、「立ち上がった」のですか。

- で
- ごんを
- として。

梓組 新出漢字 十四

部首  
養

画

読み方

訓 音

部首  
栄

画

読み方

訓 音

部首  
満

画

読み方

訓 音

部首  
欠

画

読み方

訓 音

部首  
置

画

読み方

訓 音

部首  
位

画

読み方

訓 音

Blank box for writing notes or examples for the character 養.

Blank box for writing notes or examples for the character 栄.

Blank box for writing notes or examples for the character 満.

Blank box for writing notes or examples for the character 欠.

Blank box for writing notes or examples for the character 置.

Blank box for writing notes or examples for the character 位.

名前

梓組 新出漢字 十四

部首

画

読み方

訓 音

部首

單

画

読み方

訓 音

部首

卒

画

読み方

訓 音

名前

# 20 草花のことわざ・慣用句①

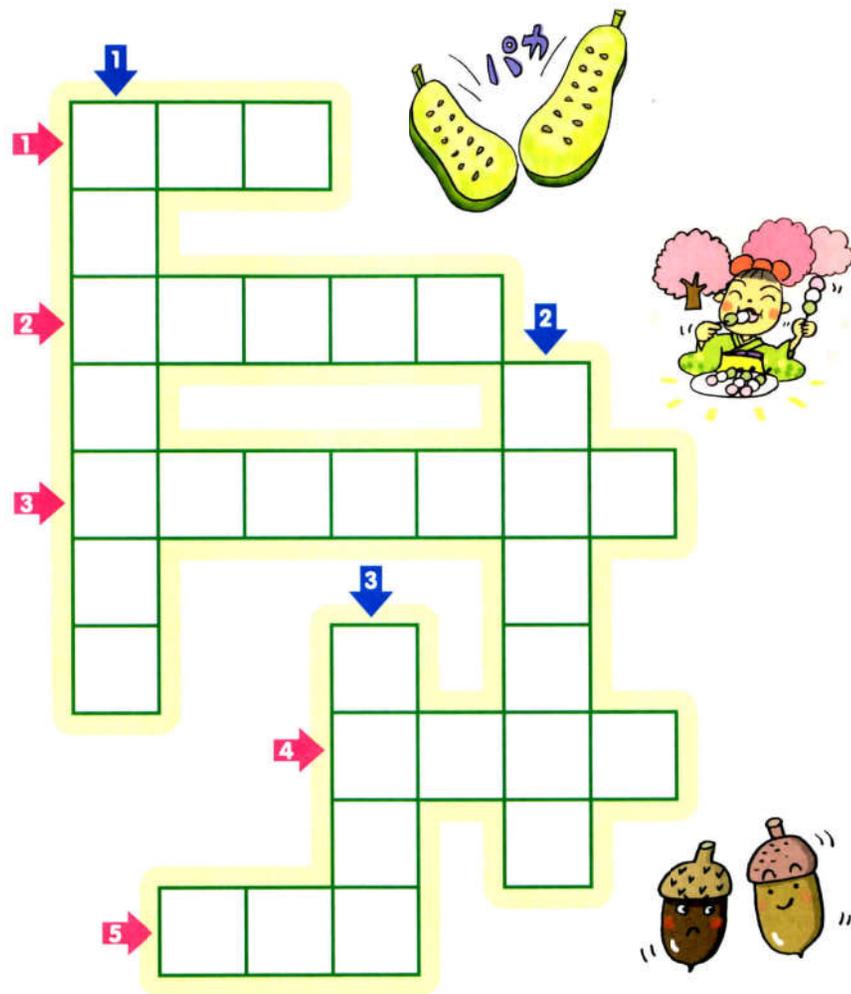
問題の答えを□に書こう。草花にかん係ある言葉だよ。

## たてのカギ

- 1 自分じぶんの子どもを大切に育てる様子ようすを、**ちょう**や**はな**という言葉ことばを使って「○○○○○○○○」という。
- 2 あの家いえは、長く人が出入りしていないので、「○○○○○○○が生える」ような様子ようすだ。○○○○○○○は、ハート形の葉がたを持った「なずな」の別のよび方かた。
- 3 弟おとうとが母を手つだうなんて、「○○○○ももの木きさんしょの木き」だ。びっくりすることを、○○○○というね。

## よこのカギ

- 1 「よしのずいから天てんじょうをのぞく」は○○○が足りず、せまいものみかたの見方みかたで、はんだんすること。「ちしき」と「ひとで」のどちら？
- 2 妹いもうとは母と「○○○○○」だ。そっくりという意味。
- 3 見てきれいなものよりも、実さいにためになるものじつのほうほうがよいことを、植物しょくぶつと食べ物たべものにたとえて「○○○○○○○○」という。
- 4 どれも同じようおなで、とくにいい物ものがないことを「○○○○のせいくらべ」という。○○○○は、秋あきになると木きの下したに落ちておちているよ。
- 5 真夜中まよなかに、**草**や**木**までもがねむっているようにしずかなことくさを「○○○もねむるうし三つ時みどき」という。



今回は「足」に関する慣用句です。

意味を知って使えるようにしましょう。

### 足がぼつこになる

意味ー歩いたり、立ったりし続けているので、足がひどくつかれる。

### 足が出る

意味ー使いすぎたために、決められていたお金では足りなくなる。そんなをする。

### 足手まとい

意味ー足や手からみつくように、そばにいて相手の行動や仕事のじやまになる。

### 足が向く

意味ーしぜんにある方向や場所に行ってしまう。

### 足を止める

意味ー立ち止まること。

### 足音をしのびせる

意味ー足音をたてないようにそっと歩く。

### 最近の出来事

上の慣用句を一つ以上使って、最近の出来事を短い作文にしてみましょう。(主語・述語を明確に)自分の経験でも聞いた話でもいいですよ。使い方がよく分からない時は、国語辞典で調べ、例文を参考に考えてみましょう。



題																			
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--